

各 位

2020年8月31日
株式会社インプレス

テレワークに不可欠なビデオ会議の基本から応用まで分かる
『できる Zoom ビデオ会議が使いこなせる本』を9月2日に発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）は、テレワークに不可欠なビデオ会議ツールのデファクトスタンダードである「Zoom」の入門書『できるZoom ビデオ会議が使いこなせる本』を2020年9月2日（水）に発売します。

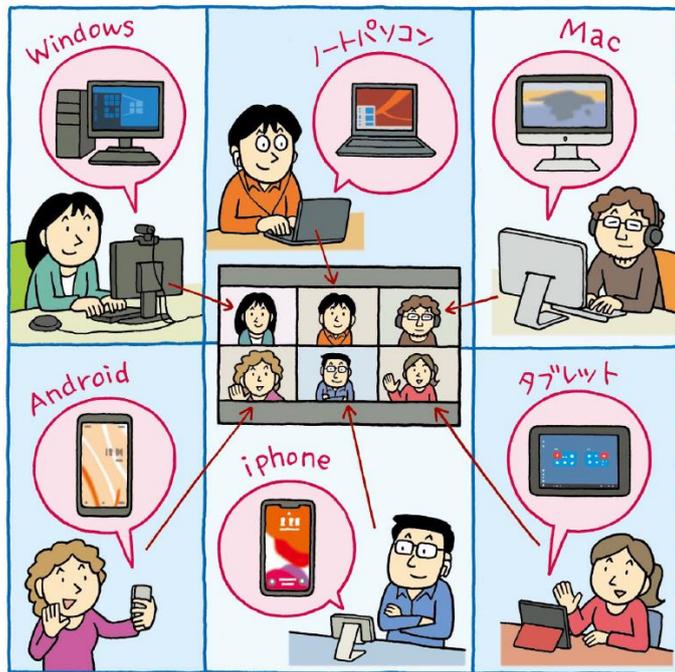


■ 「Zoom」の幅広い機能を安心・安全に使いこなせる！

今、新しいワークスタイルとして「テレワーク」が定着しようとしています。テレワークを支えるツールとして、ビデオ会議ツールやグループウェアが広く利用されています。中でもビデオ会議ツールの「Zoom」はWindowsやMacといったパソコンのほか、スマートフォンやタブレットなどのさまざまなデバイスで利用できるため、ビデオ会議ツールの定番として急速に普及しはじめています。ビジネスでの会議はもちろん、学校などのオンライン授業やプライベートな飲み会など、さまざまなシーンで活用され、利用が拡大しています。本書はそんな「Zoom」の幅広い機能を分かりやすく、丁寧に解説しているので、初めて使う人でも安心・安全に使いこなせます。

■さまざまなデバイスで「Zoom」を利用する方法が身に付く

「Zoom」はパソコンやスマートフォン、タブレットなど、さまざまなデバイスで利用できるのが特徴の1つですが、デバイスによって一部の操作が異なります。本書では、画面遷移が異なる操作は、複数のデバイスで手順を解説しています。幅広いデバイスに対応しているため、読み手の環境を選びません。



Zoomはさまざまなデバイスで利用できる

■つまづきがちな機器の接続や動作確認も手厚く解説

マイクやカメラなどの機器の不備によって、画面や音声がうまく表示されない、というのはビデオ会議で陥りがちな失敗です。本書では機器の接続例や動作確認の方法などを手厚く解説しているのので、ビデオ会議への苦手意識を解消できます。

ノートパソコンに必要な機材

ノートパソコンは比較的、新しい機種であれば、マイク、スピーカー、カメラを搭載しているため、機材を追加しなくてもビデオ会議ができます。ただし、そのままの状態では周囲に会議の内容が聞こえてしまうため、イヤホンマイクを接続した方が安心です。3.5mmイヤホンマイク端子を備えた機種であれば、市販のイヤホンマイクを接続できますが、機種によっては端子がないこともあります。Bluetoothはほとんどのパソコンが搭載しているため、Bluetoothヘッドセットを使い、ワイヤレスで利用するのも便利です。

●ノートパソコン単体

ノートパソコンにマイクとカメラ、スピーカーが内蔵されている場合は、そのまま使える。

●ノートパソコン+ヘッドセット

ヘッドセットを利用するとさらに便利になる。

HINT!
ビデオ会議には安定した通信回線が求められる

Zoomを利用したビデオ会議は、インターネットに接続して、行います。そのため、安定した通信回線が求められます。光ファイバーを利用した回線、CATVインターネット回線など、プロバンド回線があれば、快適に利用できますが、通信速度が遅かったり、不安定な回線では、送受信する映像や音声が低下します。

HINT!
Bluetoothヘッドセットは、どのようなタイプがいいの？

Bluetoothのヘッドセットは、一般的な音楽再生用のものでもマイクが内蔵されている機種であれば、パソコンやスマートフォンとペアリングして、ビデオ会議に利用できます。ただし、音楽再生用のBluetoothヘッドセットやイヤホンマイクは、耳を覆う「カナル型」などが中心で、周囲の音が聞こえにくくなるので、注意が必要ですが、また、ビデオ会議は一般的な音声通話などよりも利用時間が長いので、ネックバンド型など、長時間、装着しても疲れないヘッドセットやイヤホンマイクがおすすめです。

15

マウスとキーボード、スピーカー

次のページに続く

デスクトップパソコンに必要な機材

デスクトップパソコンはほとんどの機種がマイクやカメラを搭載していないため、外付けタイプのマイクやWebカメラが必要になります。デスクトップパソコンは本体の背面などに、オーディオ端子やイヤホン端子、スピーカー端子を備えていて、そこに外付けのマイクやスピーカーを接続します。ディスプレイにスピーカーを内蔵した機種もあります。WebカメラはUSBポートに接続し、ディスプレイの上部などに固定します。Webカメラに内蔵されているマイクが利用できる製品もあります。

HINT!
ディスプレイ内蔵のスピーカーが使えない

デスクトップパソコンは外付けのディスプレイを利用しますが、ディスプレイによってはスピーカーが内蔵されていて、本体とHDMI端子やDisplay Port端子と接続しているため、ディスプレイ内蔵のスピーカーから音声が聞こえます。

第3章 必要な機材を確認しよう

Webカメラ

外付けマイク

外付けスピーカー

デスクトップパソコンには外付けのマイクやカメラ、スピーカーを接続する

スマートフォンなどをマイクやカメラ、スピーカーの代わりにしてもよい

64

必要な機材や動作確認を手厚くフォローしているので安心

■「ウェビナー」の開催方法も学べる

「ウェビナー」はインターネット上で開催される動画を使ったセミナーのことです。Zoomの有料機能を使うと、多くの参加者を集めた説明会や講演会、オンラインイベントなども手軽に開催できます。本書はウェビナーの開催方法もしっかり解説しています。



Zoom上でセミナーを開催できる

■書誌情報



書名：できる Zoom ビデオ会議が使いこなせる本
著者：法林岳之・清水理史&できるシリーズ編集部
定価：本体1,580円＋税
電子版価格：1,580円＋税※インプレス直販価格
発売日：2020年9月2日（水）
ページ数：192ページ

ISBN：978-4-295-00978-8

◇Amazonの書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/4295009784/>

◇書誌情報：<https://book.impress.co.jp/books/1120101047>

◇書影ダウンロード：<https://dekiru.net/press/500978.jpg>

■目次

- 第1章 Zoom の基本を知ろう
- 第2章 Zoom を使えるようにしよう
- 第3章 必要な機材を準備しよう
- 第4章 ビデオ会議をしよう
- 第5章 ビデオ会議を円滑化しよう
- 第6章 ビデオ会議の便利な設定を知ろう
- 第7章 ウェビナーの開催方法を知ろう

■著者プロフィール

法林岳之（ほうりんたかゆき）

1963年神奈川県出身。パソコンのビギナー向け解説記事からハードウェアのレビューまで、幅広いジャンルを手がけるフリーランスライター。「ケータイWatch」などで連載中。

清水理史（しみずまさし）

1971年東京都出身のフリーライター。雑誌やWeb媒体を中心にOSやネットワーク、ブロードバンド関連の記事を数多く執筆。「INTERNET Watch」にて「イニシャルB」を連載中。

■できるシリーズについて

<https://dekiru.net>

「できる」シリーズは、画面写真をふんだんに使い、操作の流れを紙面に再現した入門書の元祖です。操作に必要な「すべての画面」と「すべての手順」を紙面に掲載しているので、パソコンやインターネットの操作に不慣れな方でも簡単に操作や知識を身に付けられます。楽しみながら操作を学べるように、各レッスンにストーリー性を持たせ、章ごとに知識が身に付く構成になっています。おかげさまで「できる」シリーズは、刊行開始から25周年を迎え、シリーズ累計7,500万部を突破しました。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 7,500 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、及びデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証1部 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」「学術・理工学」「旅・鉄道」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

TEL：03-6837-5034 E-mail: pr-info@impress.co.jp URL： <https://www.impress.co.jp/>